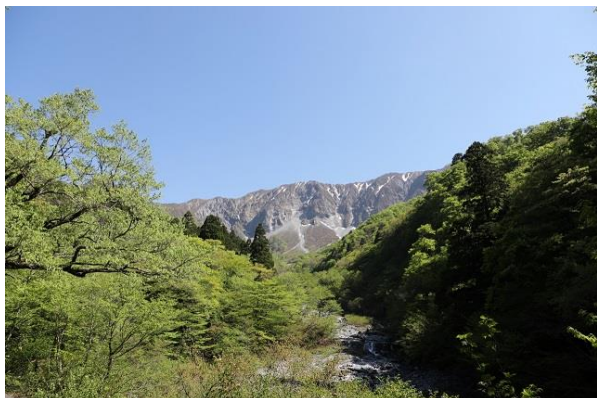


大山の森だより



2018年 夏号

祝！大山で「山の日」記念全国大会開催



8月11日が国民の祝日「山の日」になって今年で3年目。今年は、鳥取県・大山で「山の日」記念全国大会を西日本で初めて開催します。

「山の日」は「山に親しむ機会を創出し、山の恩恵を感謝する機会とする」ことを目的として制定されました。大山の大会では「自然保護の重要性や山と共に生きることのすばらしさ」をアピールします。

大山は神仏のおわす聖なる山として人々の信仰の対象であり、豊かな自然が人々の手により護られてきました。

大山のブナ林は西日本最大規模を誇り、豊かな森で育まれた水が大地を潤し、海へと流れ出た水が、沿岸の海藻を育て、サザエやアワビ、ウニといった海の幸を育てています。

また大山は「自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう」で始まる自然保護憲章の発祥の地です。1966年に大山で開催された第8回国立公園大会で制定決議されました。大山から山のすばらしさを発信しましょう！

※第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取の情報は裏面で紹介しています。

春期 自然ふれあい事業 活動報告

○鏡ヶ成山開き・擬宝珠山登山 (共催事業) 4月27日(金)



約70名が、カタクリの咲く擬宝珠山尾根筋を目指しました。今年は平年より1週間程度開花が早く、登山道の両脇で満開のカタクリが楽しめました。

○下山自然観察道 鳥探しウォーク

6月2日(土)



大山・森の遊歩道のリニューアルを記念して、鳥の観察会を開催しました。参加者は鳥のビンゴをしながら、新緑の森でさえずる鳥たちを探しました。

※6月30日開催の柘水高原・アサギマダラ観察会は秋号で報告します。



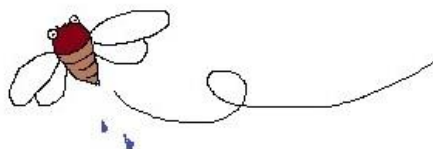
今年は5月12日にアサギマダラの大山への初飛来が柘水高原で確認されました。6月初旬現在、柘水高原の森の小径では、50羽近いアサギマダラが集まっています。山口県周防大島でマーキングされた個体も確認されました。山陽から山陰への移動確認は初とのこと。

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。

予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。

裏面にイベント情報を掲載しています。

●知られざる大山のセミ●



6月に入り、エゾハルゼミの合唱が大山寺周辺で聴かれるようになりました。

エゾとは北海道の昔の呼び方で、動植物にエゾが付く場合は寒い地方に生息することを表しています。実際エゾハルゼミは大山ではブナが多くみられるようになる800メートル以上の高地に生息しています。大山にはハルゼミも生息しており、ハルゼミが好む松類が生えているブナの森では2種類のセミの鳴き声を同時に聞くことができます。ハルゼミは標高に低い松林にも生息しています。

大山にはもう3種、名前にエゾがついたセミがあります。エゾゼミとアカエゾゼミとコエゾゼミです。どれも標高600メートル以上のミズナラの森に生息し7月ごろから鳴き始めます。3種ともジ————またはビー————と一本調子で鳴くので気づきにくいですが、10月ごろまで生息しているのでセミの声に耳を傾けてください。

	<p>【ハルゼミ】 5月～7月 ムゼー ムゼー マツ類の樹液しか吸わないので里山や海岸の松林に多い。別名マツゼミ。幹ではなく枝に止まっていることが多い。全体的に色が黒くて見つけにくい。 松林の減少と松くい虫防除の農薬散布の影響で全国的に少なくなっている。 体長:オス 28- 32mm、メス 23-25mm ※オスはおしりがかなりでかい。写真はみ</p>
	<p>【エゾハルゼミ】 6月～8月 オーシー オーシー シャワワワワワ 少し物悲しい鳴き方やおしりが黄褐色で見た目がヒグラシに似ている。ブナやミズナラの広葉樹を好む。 西日本ではヒノキやスギの植林で生息域が狭まっているとのこと。 体長:オス 31-33mm、メス 22- 24mm ※オスはおしりがかなりでかい。写真はみ</p>

【エゾゼミ】
8月～10月 ジ————
鳴き声が右記の二種類より低く少しビブラートがかかっている。普通は頭を下向きにして木に止まるらしい。
体長:体長 40-46mm

【アカエゾゼミ】
8月～10月 ビ————
エゾゼミをもっと鮮やかにしたような姿。木のとっぺんで鳴くことが多い。
体長:体長 39-44mm

【コエゾゼミ】
7月～9月 ビ————
エゾゼミに姿がよく似た一回り小型のセミ。下向きに木に止まって鳴くことが多い。
体長:体長 34-38mm

大山には他にも多くのセミが生息しています。

(アブラゼミ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクホウシ、ヒグラシ、など)



夏だ！キャンプだ！

自然公園財団が管理する大山キャンプ場をご紹介します

秀峰大山に一番近いキャンプ場で、大自然を満喫しよう！



下山キャンプ場 ■開設期間：7月中旬～8月下旬

大山夏山登山道の登山口に一番近いキャンプ場です。登山の拠点として最適なほか、キャンプ場の下に自然学習歩道(大山 森の遊歩道)が整備されており、朝の散策やバードウォッチングを楽しむことができます。

■場内施設：炊事棟 5棟、水洗トイレ 3棟、コインシャワー(5分 100円)

豪円山キャンプ場 ■開設期間：7月中旬～8月下旬

豪円山と中ノ原スキー場との中間にある静かな静かなキャンプ場です。キャンプ場の名前にある豪円山のろし台から望む大山北壁や日本海などのパノラマ風景はオススメです。

■場内施設：炊事棟 4棟、水洗トイレ 4棟、コインランドリー(100円)

※コインシャワーは大山ナショナルパークセンター(旧大山情報館)内にもあります。5分200円 利用時間は8時から18時まで



■料金

	1泊	日帰り
大人(高校生以上)	500円	250円
小・中学生	400円	200円

※テント・タープをご利用(持ち込み)の際は、1張につき別途300円いただきます。

※貸テント(4名用)2500円。炊事用薪は400円で販売。

■申込・問合せ先

TEL:0859-52-2165 ※8:00～18:30

(自然公園財団 鳥取支部 大山事業地)

【大山キャンプお役立ち情報】

○大山寺集落の豪円湯院で温泉に入浴可能。

平日・日曜 11:00-20:00

(最終受付 19:30) 入湯料380円

土曜・祝前日11:00-20:30

(最終受付 20:00) 入湯料380円

○大山寺橋横にモンベル大山店があります。

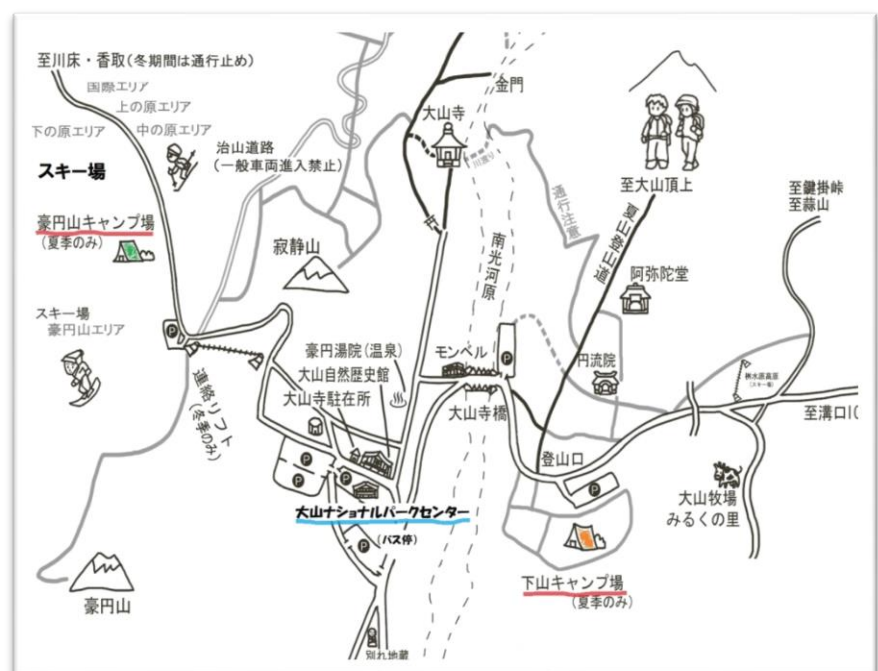
アウトドアグッズが購入できます。

平日 10:00-19:00

土日祝 8:00-19:00


○大山キャンプ場の周辺にはスーパーマーケット、コンビニ、ガソリンスタンドがありません。

食料購入・給油はキャンプ場到着前に！



ーイベント情報（7月～9月）ー

■自然公園財団のイベント（予定 2018年6月28日現在）

<p>○大山の森で小鳥を呼ぼう オリジナルの鳥笛とバードコール工作体験 開催日：8月4日(土)13:00～16:00頃 会場：大山下山キャンプ場管理棟 集合場所：旧大山情報館1F 自然公園財団前 参加費：500円 材料費込</p>	<p>【内容】 鳥のさえずりにそっくりな音が出る笛を作ります。うまくできたら小鳥が集まるかも。自分の作った笛を森で鳴らしてみよう。 親子参加大歓迎。定員20名</p> 
<p>○大山古道「坊領道」と中国自然歩道の森を歩く 開催日：9月22日(土)9:00～12:00頃 会場：飯戸付近⇒捨墓⇒坊領道⇒籠立橋前 ⇒中国自然歩道⇒博労座(旧大山情報館) 集合場所：旧大山情報館1F 自然公園財団前 ※乗り合わせて飯戸付近へ 参加費：1000円</p>	<p>【内容】 森の中に3メートル幅の土の道が続き、所々に苔むした地蔵を見ることができる歴史ある坊領道と、アカマツやカエデの2次林が美しい中国自然歩道を歩きます。 歩行距離4キロ。標高350～750m 定員20名</p>

■周辺のイベント■

第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取

8月11日(土・祝) 記念式典：大山総合体育館(豪円山下)※応募抽選200名
9～15時：「森の恵み感謝祭」※申し込み不要
木に親しむイベント、森が育んだうまいもの市、ミニステージなど

大山の大献灯

8月10日(金)から15日(水)、24日から26日、9月22日から24日
大山の夏の風物詩となっている「お盆の大献灯」を、2018年は期間を拡大し、「大山の大献灯」として実施します。和傘と和紙の幻想的な灯が大山寺を彩ります。※8月14、15日は和傘の灯はありません。



1300本のたいまつ行列

9月30日(日)
1300本のたいまつで大神山神社奥宮の御神火を渡り繋ぎ、博労座駐車場で参加者の祈願成就を願います。1300人がたいまつを手に「炎の河」となって流れる光景は圧巻で、人々に忘れられない感動と思い出を与えます。お問い合わせ先：0859-52-2502

※7月から9月は上記以外にも大山でイベントが多数開催されます。インターネットなどで情報をご確認ください。

一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33
大山ナショナルパークセンター(旧大山情報館)1階
TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370
URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>